

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	栃木県	事業実施主体	那須烏山市	地域再生計画名	水と緑豊かなひかり輝くまちづくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	那須烏山市総合政策政策審議会会長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度				
①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理施設の整備の促進	52.9%	H26	59.7%	H29	58.2%	65.1%	H31	×	当該交付金を活用し、汚水処理施設の整備は効率的に実施できたが、一部公共下水道施設で、災害時対応可能な施設の整備及び昨今の厳しい経済事情により汚水処理施設整備の目標を下回った。
	指標 2	那珂川を活かした交流人口の確保	25,000人	H26	27,000人	H29	31,500人	30,000人	H31	○	多様なレジャーへの移行はみられるが、山上げまつりのユネスコ登録にも影響され、目標の交流人口を確保している。
②地域再生計画に記載した 数値目標以外の波及効果の 実現状況	指標1	浄化槽設置整備の促進	2118基	H26	2385基	H29	2505基	2563基	H31	○	全体の汚水処理施設普及に大いに当事業が貢献している。
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度 (H29)	最終実績 見込み						
	特別措置を適用して行う 事業	公共下水道（整備延長）	1,600m	732.6m	1,307.4m	災害時に対応可能な発電機を有するマンホールポンプ場建設費が増え、管渠整備に影響している。					
		個人設置型浄化槽整備事業（整備基 数）	445基	246基	366基	汚水処理施設普及に大いに貢献しているが、当該交付金の波及効果で申請が下回ってきている。					
	その他の事業	人材育成の推進	環境問題意識の高揚をはかるため年1 回のクリーン作戦、また、市内小学校 等からの施設研修の実施。			市関係者や地域の協力により、環境問題等の意識が高まった。					
		自然体験の推進	那珂川流域での、自然ふれあい体験実 施。			市、観光協会、民間団体が一体となりカヌー、カヤックを利用しての自然体験の推進している。					
	計画外で独自に実施した 事業										
④評価方法		中間目標値の実施状況を評価し、市の総合政策審議会に結果を報告し意見を求める。									
⑤中間評価の公表方法		住民に汚水処理施設への理解を深めてもらうため、中間評価調書を那須烏山市ホームページに掲載。									
⑥計画全体の総合評価		本地域再生計画は、汚水処理施設整備交付金を利用した公共下水道と個人設置型浄化槽整備事業を一体的に実施し、効率的に汚水処理施設の整備が進んでいるが、普及率目標設定において人口減少の要因を含める必要があった。那珂川関連交流人口については、山上げ祭りのユネスコ登録にも影響され順調な伸びをしている。									
⑦今後の方針等		公共下水道事業と浄化槽設置事業をより一層連携を図り、汚水処理施設の普及促進に努め、生活環境の改善及び快適な住まいづくりを図り、関係機関とも協力して那珂川活かした交流人口を確保していく。									